

先端科学技術研究科 修士論文要旨

所属研究室 (主指導教員)	ソーシャル・コンピューティング (荒牧 英治 (教授))		
学籍番号	2111013	提出日	令和 5年 1月 19日
学生氏名	安藤 晶		
論文題目	看護記録生成のための不完全エンティティ群からの主訴文生成		
要旨			
<p>長時間の看護記録入力業務は看護師にとって大きな負担となっている。近年、この問題を解決するため自動音声認識による入力支援に期待が高まっているが、音声認識精度の課題から実用化にはまだ遠い。</p> <p>そこで、本論文では主訴のように臨床現場で繰り返し発話されることの多い看護上重要な表現に着目した。これらを患者状態表現として定義し、固有表現抽出と抽出した患者状態表現からの主訴文生成を行った。</p> <p>まず、症例報告などの医療文書を学習させた既存の医療表現抽出器では抽出できない患者状態表現を抽出するため、患者状態アノテーション仕様を提案し、1008件からなる模擬看護記録コーパスを構築した。更に、BERTベースの固有表現抽出モデルを用いて本コーパスにおけるアノテーション仕様の性能評価を行った。</p> <p>次に、患者状態表現からのT5ベースの生成モデルを用いた主訴文生成を試みた。更に誤りを含む固有表現抽出結果からの生成実験を行い、一部の不完全な表現からも主訴文の生成が可能であることを確認した。このことから不完全な音声認識結果からの看護記録生成においても提案手法が有用であることを示す。</p>			